

# 土浦平和の会

ニュースNO・127 2003年 3月



## 3・15行動の感想 その2

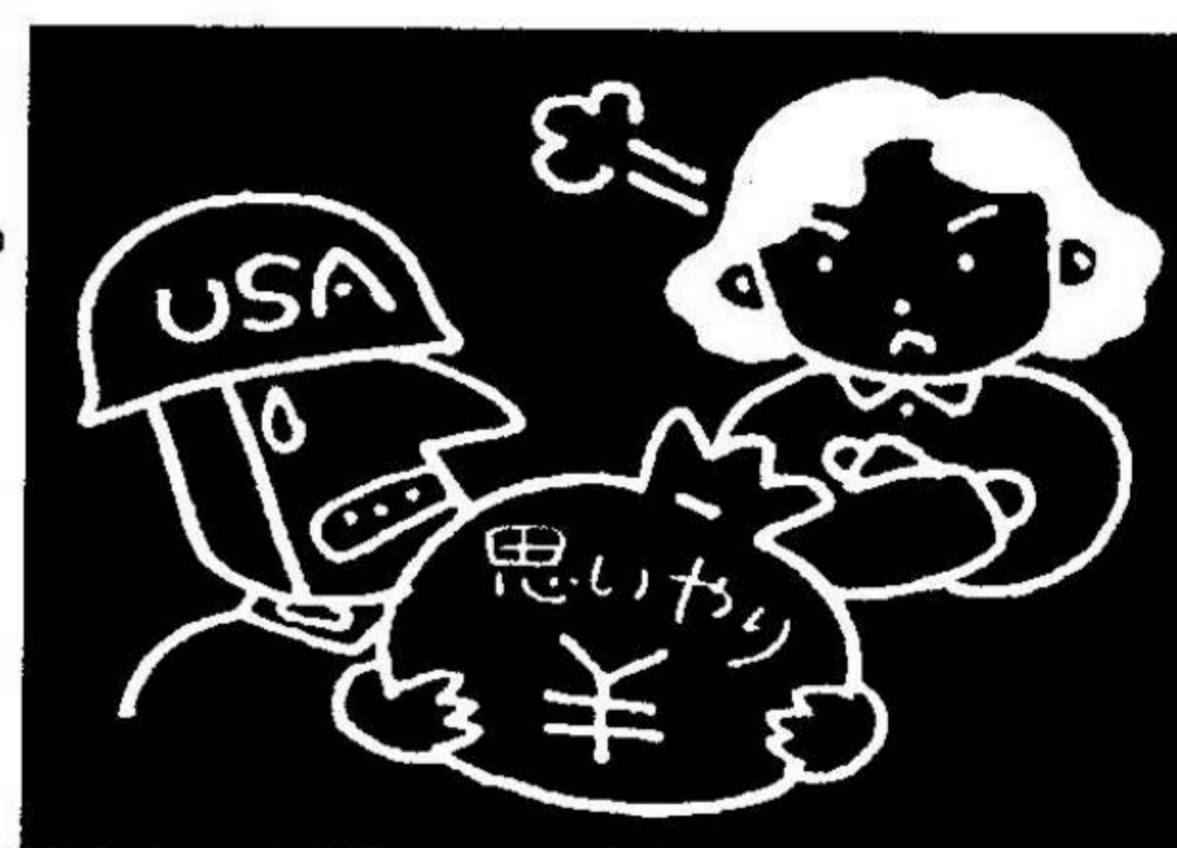
嵐砂 (乙戸南)

3・15大集会&銀座パレードに参加し、その人数と熱気に圧倒された。政党、宗教、人種など様々な隔たりを超え、平和を訴えることは非常に大きな意義があると思う。しかし、そもそも反戦集会というものが必要とされる時代があってはならないということを忘れてはいけない。世界平和は自然の摂理であるべきで、「反戦」という言葉が必要とされる時代=戦争への道を突き進む時代があること自体、間違いなのだ。世の中が平和なら平和を訴える集会があるはずもない。私たちは、このような集会が必要とされなくなる時代がくるまで、平和のために闘わなくてはならない。改めてそのことに気付かされた。

集会には、私と同世代の人たちもたくさん出席していた。私たちは戦争(第2次世界大戦)を経験していない。歴史の授業でも教科書の文章をなぞるだけで、それ以外のことまで教えてくれる先生はごく少数だ。しかし戦争を知る人々がいなくなっていく中で必要とされるのは私たち若い世代だと思っている。だから私たちは世の中で行われていることをしっかりと見据え、善悪の判断をし、間違っていることには行動を起こさなければいけない。

今回の集会は、世界規模で見ればまだ小さいと言わざるを得ない。

しかし今、世界中で反戦集会が行われている。その一つ一つは種のようなもので種はやがて実を結ぶものだ。種が出来る限り早く実を結ぶことを願っている。



イラク戦争は不正義・違法

## 牛久でも緊急市民集会

前日まで土浦平和の会の仲間と一緒に日比谷公園に行き「イラク攻撃反対3・15大行動」に参加する予定にしていたが、同じ日に牛久でも集会とデモを呼びかけているのを知り、東京まで行くのは無理と思っている仲間を一人でも多く誘って参加を!と意気込んで声をかけてみたものの、この所の寒さに体調を崩したりで、誰も乗ってくれず、結局愛犬をお供に、手作りのプラカードをもって参加しました。

牛久駅前広場には60名余りが集い、各団体の代表者が次々に”なんとしてもアメリカの理不尽なイラク攻撃を止めさせなくては”との強い思いを訴え、共産党・新社会党の宣伝カーを先頭と最後尾にして市役所までデモ行進しました。緊急の集会だったせいか、若者の参加が少なかったのが少々寂しい気がしましたが、若い人たちはNETで思いを発信したり表現の方法が違っているだけなのかも知れません。とにかく方法は様々でも、最後まで戦争反対の声を上げ続けなければとの思いを強くしました。

乙戸南 飯干春恵